

新たな歴史に向かって

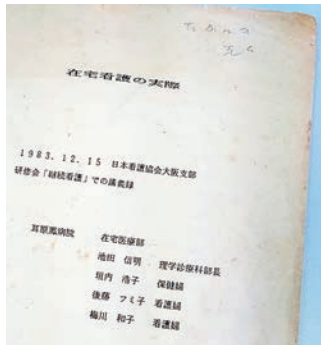
鳳エリア建替え運動の道

16

地域での「訪問看護」の先駆け

保健師として「耳原鳳病院・在宅医療部」の活動を振り返って（後編）

在宅で療養されている患者さんやご家族の方々に本音に多くのことを学ばせていただきました。今では当たり前ですが、今までは利用がなかった。特に重度の障害の方



当時の資料

も相談にのれる体制や急変時の体制づくりなど、とても重要なことでした。地域保健所の保健師さんの研修会や日本看護協会の在宅看護の講師などもさせていただきました。

耳原高石診療所の閉院に寄せて 27年の歴史に思いを馳せつつ

段ボール箱の中から昔の写真が出てきました。診療所が建つ前の地鎮祭の様子を写した写真です。

神主さんが詠を唱える傍でパイプ椅子に座っているのは、当時の理事長、その隣には専務理事。両手で柵を携えている友の会の世話人さんの姿もあります。高石市に診療所を作る

うという運動は、今から30年前に遡ります。当時の世話人さんを中心に、みみはら健康友の会の入会を呼びかけます。医療法人同仁会は、看護師篠原さん、事務の中川さんを派遣。1997年12月、内科と小児科を標榜した耳原高石診療所開設時には、2000世帯もの友の会が組織されていました。

なかに「在宅看護」が教科になりました。まだまだ新しかった在宅医療の取り組みは全国的に注目され、民医連の事業所からの看護研修や研修医の見学なども積極的に受け入れました。



府下2番目の訪問看護ステーションとして誕生

1980年代以降、高齢者を病院からの追い出す自民党政治のもと、民医連では介護保険制度導入を見据えた取り組みが進み、83年に初めて高齢者退院患者への訪問看護に診療報酬が認められる

こととなります。その後、訪問看護ステーションによる訪問看護の制度化が行われた92年に訪問看護ステーションとして大阪府下では2番目となる「老人訪問看護ステーション鳳」が耳原鳳病院に開設されました。

「過去は振り返らない」をモットーにしている私ですが、振り返る時間をいただき有難うございました。（元同仁会保健師 垣内 浩子さん）

デイケアをおこなっていた部屋は、後から建て増した部分です。新築当時、そこには屋上の空中庭園がありました。観

葉植物や季節の花々が咲く中、青空の下でバーベキュー大会をすることも

できました。友の会の人たちが宴会をしている証拠写真も残っていますし、私自身も見たことがあります。



送迎車出発式



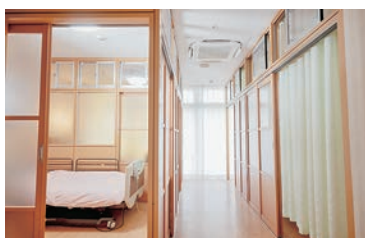
最終診療日の閉所式

開設以来27年間、この地域に根付いた診療所。同仁会にせめて望むのは、建物を打ち壊さないで管理してほしいことです。いずれ世が変わり、いつの日にかこの地で診療が再開せんことを夢に見つつ、お別れしたいと思います。（耳原高石診療所 元所長 松葉 和己）

介護老人保健施設みみはら

プライベート空間が楽しめる、感染対策も整った居室が完成

2024年1月から3月にかけて、介護老人保健施設みみはらの居室のリノベーションを実施し、多床室でのプライベート空間の確保と、いざという時の感染対策のためにパーテーションを設置しました。



これに伴い、従来の個室8床に加えて、2人部屋8室、4人部屋14室が泊まってい

るようだ」「昼間はカーテン、夜はパーテーションと使い分けられてプライベート空間を楽

しんでいる」。職員からは「毎日の感染対策は怠りませんが、いざという時の備えは大切。パーテーションを活用し、院内感染を防げるので安心」

利用者の方から「パーテーションにより部屋が明るくなり、アルミ製で軽くて、折りたたみできる部分もあり便利」などの声も帰ってきています。

老健みみはらでは、要介護Iから入所でき、要介護・要支援の皆さんはシヨートステイをご利用いただけます。デイケアは、午前から午後の滞在型と、90分の短時間リハビリテーションを実施しています。見学などもできますので、お気軽にご相談ください。（介護老人保健施設みみはら 施設長 土井 康文）

理事会報告

6月理事会（概要）

開催日時：6月27日（木）
午後6時～8時10分
出席：理事 22名
監事 3名

〈主な内容〉

- ◆報告
・ 拡大常任理事会、各種委員会概要
・ 健康友の会みみはら、社保・平和の取

り組み

- ・ 無料低額診療の各事業所実績
・ 2024年5月度決算概要
・ 鳳エリア建て替えの進捗報告
・ 高石ブロック友の会会員訪問について報告

◆協議確認事項

- ・ 定例評議委員会の議案について承認
・ 不動産の購入（大仙西町）について承認
・ 就業規則における配偶者の定義の改定について承認
・ 事務長の異動及び事務管理者の大坂みなみ医療福祉生活協同組合へ出向について承認

◆報告

- ・ 大仙西地域コミュニケーション棟事業と高石診療所の跡地利用について報告